



平成27年11月定例会
11月26日～12月10日 会期15日間

今回の議案は…

- 市長提出議案 17件
- 議員提出議案 3件
- 請願・陳情 1件

計21件

今号では、この中から
次の3件を Pick Up ☆

すべての議案名と結果など詳細は、
三島市議会ホームページをご覧ください。

Pick Up
1

一般会計予算を増額補正します。

<議第69号> 平成27年度三島市一般会計補正予算（第4号）【全会一致】

職員構成の変動などに伴う人件費の減額を行う一方、障害福祉サービスの利用者増加などに伴う自立支援給付等事業のほか、観光振興事業などの増額補正を行いました。

【一般会計補正予算（第4号） 3億3,224万円】

（歳出の主な内容）

●自立支援給付等事業	1億6,966万円
●観光振興事業	5,702万円
●市道維持修繕事業	3,000万円
●市立保育園管理運営事業	2,460万円
●健康診査事業	1,840万円
●県道修景整備地元負担金	1,359万円
●消防広域化準備事業（市単独分）	576万円
●三島市、裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会負担金	141万円
●職員構成の変動など決算見込みによる人件費	△1億1,675万円



佐野あゆみの里 作業の様子

Pick Up
2

地域社会全体で中小企業の振興を図り、活力ある三島市を目指します。

<議第77号> 三島市中小企業振興条例 【賛成多数】

中小企業は地域産業の活性化、雇用機会の創出などを通じて地域社会の根幹を支えてきただけでなく、防犯活動や災害時の協力など、地域社会の重要な担い手となっています。

そこで、中小企業の振興を図るため、市および中小企業者の責務や大企業・関係団体・市民の役割などが条例に定められました。

また、「三島市がんばる中小企業応援会議」が設置され、現場の声が施策に反映されます。

Pick Up
3

三島市、裾野市および長泉町の2市1町による「富士山南東消防組合」の設立に向います。

<議第74号> 富士山南東消防組合の設立について 【賛成多数】

平成28年4月から、三島市、裾野市および長泉町が消防組織を統合して、消防事務等を共同で処理することになります。

今後もなお一層の少子高齢化の進展が見込まれる中で、大規模災害への対応力強化はもとより、市町境を越えた最寄りの署所からの消防・救急車両の出動が可能となり、消防救急力の強化が図られます。また、財政的メリットも見込まれます。

議第74号に対して議員が討論を行いました

主な賛成討論

- 三島市は今後、人口減、税収減が予想されるが、将来の消防力を維持・強化するために広域化を選択する。
- 平成26年の救急出動件数は4,418件で、火災・救急出動件数の99.4%を占め、裾野市、長泉町に比べ高齢化率の高い三島市の救急出動増加に対応するために必要である。
- 広域化に伴う署所および車両の整備に対し、交付税措置がされることにより、約10億円の財政負担の軽減につながる。
- 大規模災害に対応する消防活動車両の燃料を確保するための地下給油備蓄タンク、消防本部などの非常時の自家発電機の整備が可能となる。
- 風水害の被害を受ける可能性が高い中郷地区において、中郷分遣所に救急車が配置されることにより、救急力を強化することができる。

主な反対討論

- 広域化に関する情報の市民への周知が不足。
- 職員の勤務体制や給与制度などが、関係市町と未だに合意されていない。
- 北上分遣所がなくなり、徳倉・芙蓉台地区が消防の空白地域となっており、改善されるのは4年後となっている。
- 中郷分遣所の整備予定は8年後に先送りとなる。
- 新しい消防施設に現在の3倍規模の建物を約10億円もの税金をつぎ込むことには疑問がある。
- 三島市の車両が他市町へ出動中に、市内で事案が発生した場合に対応が遅くなる。
- 広域化により管轄区域は現在の3.6倍になる。車両は1台減らしても基準に適合するが、職員を増員する予定はないため、消防力低下の恐れがある。
- 消防団との連携が困難になる。
- 現状の予算より多くの予算が必要になる。

付帯決議

富士山南東消防組合の設立に関して、議員17人から付帯決議案が提出され、賛成多数で可決されました。その内容は、組合の設立意義や今後の運用など、再度、市民への正確な情報提供を図り、併せてスケールメリットを生かした消防力の向上に向けて、特段の配慮をするよう強く求めるというものです。

請願

上記議案に関連して「消防広域化の審議の継続を求める請願」が提出されましたが、賛成少数で不採択となりました。

付帯決議ってなに？

議決された議案などに対して、施行について意見や希望などを表明する決議のことです。

